

佐賀建設新聞

発行所

株式会社 建設新聞社

〒849-0301

小城市牛津町乙柳1145-7

Tel 0952-66-5750 (代)

FAX 0952-66-5751

原点回帰

複業で地域を支える

第14回建設トップランナーフォーラム

11/14

第3部「再生可能エネルギー・環境事業への進出」では、深松組(仙台市)の深松努社長が「富山県の小型水力発電と地域水道の維持」と題し、小水力発電の売電収入による老朽化した簡易水道設備の更新▽日本建設技

術(佐賀県唐津市)の原裕社長が「環境リサイクル・ミラクルソルの展開」と題し、ガラス廃材の再資源化により開発した多目的資材「ミラクルソル」の透水性舗装工法での活用事例をそれぞれ発表した。これに対し、アドバイザーの五道仁(米国)土交通省大臣官房技術審議官と、上田康治(環境省)大臣官房審議官がコメントした。

建設業の技術と知恵を生かした事業を評価



▶ 五道氏

深松組の取り組みについて五道氏は「建設業が持つノウハウを生かし、技術をはじめ、地域の地形なども熟知していたからこそ実現できた」と評価。また、建設事業だけではなく、資金調達を含め事業全体の枠組みを構築した行動力に「これからの地域のインフラ整備における建設業が果たす役割

のモデルとなる」と述べた。

日本建設技術の取り組みでは、緻密な実験の積み重ねなどを評価。「国土交通省では、こうした新技術の導入に対して予算確保にも取り組んでいる。攻めの複業に力を入れてほしい」とコメントした。

上田氏は、両者の複業事例を聞き、まさに国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な成長)だと述べた。

深松組には、「地域活性化を行い、電気代を無料にし、若い人たちが地



▶ 上田氏

発されたミラクルソルは、ガラス廃材でリサイクルされた資材であり、透水性舗装工法により、ヒートアイランド現象の抑止やCO2対策など、複数の効果を得られる点が素晴らしい」と称賛。

特にヒートアイランド現象の抑制効果は、近年多発している熱中症の予防にもつながると、活用

の拡大に期待感を示した。(地方建設専門紙の会)

※登場者の肩書は6月28日時点のものです。

第3部 再生可能エネルギー・環境事業への進出

アドバイザーのコメント